

グローバル資源エネルギーファンド



Monthly Report

追加型投信／海外／株式

2012年1月31日現在

■ ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
設定日	2007年12月21日
決算日	原則6月20日および12月20日(休業日の場合は翌営業日)
信託期間	無期限※1

※1…ただし受益権口数が30億口を下回った場合には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。

基準価額	7,270 円
(前月末比)	+ 401 円
純資産総額	5.4 億円
設定来高値	10,256 円 (07/12/27)
設定来安値	3,478 円 (08/11/21)

■ 運用実績



※基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を表示しております。また分配金込み基準価額は税引き前分配金を単純に合算したものです。

資産構成	☆1
RBC Funds(Lux)-Global Resources Fund	95.0 %
FC・マネーマザーファンド	1.9 %
その他	3.2 %

☆1 この比率は“グローバル資源エネルギーファンド”の純資産に対する比率です

分配金		
第6期	(2010/12/20)	0 円
第7期	(2011/06/20)	0 円
第8期	(2011/12/20)	0 円
TOTAL	設定来	0 円

期間騰落率

過去1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
5.8%	-2.3%	-16.7%	-18.1%	63.8%	-27.3%

※5ページに当ファンドにかかるリスク及び費用を掲載しておりますので必ずご確認ください。

《当資料のお取扱におけるご注意》

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、ばんせい投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。

投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



ばんせい投信投資顧問

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号
商品投資顧問業(農経(1)第19号)

【加入協会】

(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会
日本商品投資顧問業協会

【審査NO.2012-1-0064】

グローバル資源エネルギーファンド



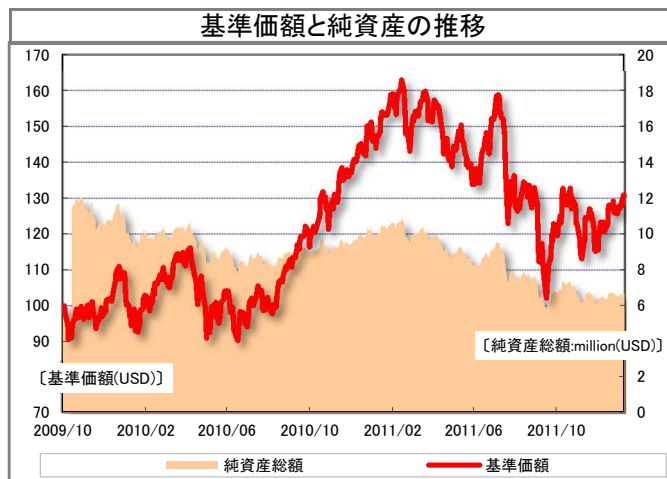
Monthly Report

追加型投信／海外／株式

2012年1月31日現在

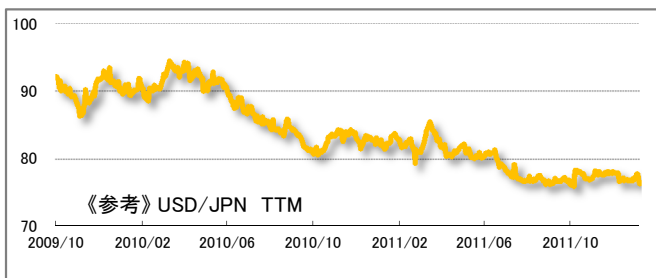
■ パフォーマンスとポートフォリオ

● RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund <ルクセンブルク籍 米ドル建>

基準価額
130.61 USD米ドル(TTM)
76.38円

期間騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund	8.2%	-0.3%	-14.9%	-11.1%	--	30.6%
米ドル	-1.7%	-1.8%	-1.9%	-7.0%	--	-16.1%



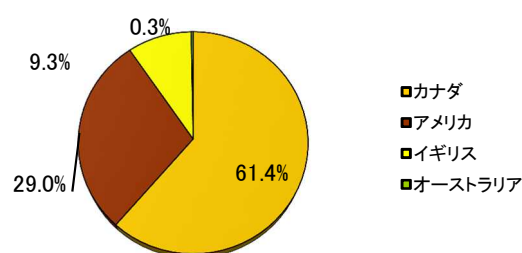
資産構成

株式	99.2%
その他	0.8%

セクター内訳及び寄与度

	比率	収益率
株式	100.0%	5.9%
エネルギー	69.5%	3.1%
素材	30.5%	12.3%

組入国



保有銘柄数 59

組入上位10銘柄	業種	事業内容	組入比率
テック・リソースズ	総合天然資源グループ	カナダ、米国、ペルー、チリ等で鉱山、溶解、精錬などの事業を手掛ける	4.2%
コースタル・エナジー	石油・ガス探査生産	南東アジアで石油・ガスの探査・生産を手掛ける	4.1%
シェブロン	エネルギー	世界的な総合エネルギー会社	3.7%
カナディアン・ナチュラールリソースズ	石油・ガス探査生産	石油・天然ガス鉱床の買収、探査、開発、生産、および関連製品の生産を手掛ける	3.6%
サンコア・エナジー	総合石油ガス	カナダの総合エネルギー会社。アサバスカの盆地でオイルサンドの探査に注力。	3.3%
ナショナル・オイルウエル・バーコ	石油・ガス設備・サービス	石油・ガスの探掘、生産機器メーカー。油田の検査・保守等も	3.1%
オキシデンタル・ペトロリアム	総合石油ガス	原油と天然ガスの探採、開発、生産	3.1%
トリロジー・エナジー・トラスト	石油・ガス探査生産	カナダのエネルギー会社。天然ガス、原油、液化天然ガスの取得、開発、生産、販売。	2.8%
モンサント	バイオ化学	農業製品メーカー。農家に農業製品を提供。事業は種苗とゲノムの部門からなる。	2.8%
プレミア・オイル	石油・ガスの探査・開発	英国、インドネシア、パキスタンで石油・ガスの探査・開発を手掛ける。	2.8%
※組入株式評価額に対する比率です。			33.4%

新規組入…ヤマナ・ゴールド、アリゲニー・テクノロジーズ、B2ゴールド、ペトロミネラルズ、バルカン・マテリアルズ

全株売却…ヘルマリック・アンド・ペイン、ワイルド・ストリーム・エクスプロレーション、ペインティッド・ポニー・ペトロリアム

銘柄別寄与度(上位5社)

	ウェイト	収益率	寄与度
サンコア・エナジー	3.1%	19.4	0.60
コースタル・エナジー	5.8%	9.4	0.54
モンサント	2.6%	17.6	0.46
テック・リソースズ	2.2%	20.2	0.44
タグ・オイル	2.0%	18.3	0.37

銘柄別寄与度(下位5社)

	ウェイト	収益率	寄与度
パラマウント・リソースズ	3.7%	-17.6	-0.65
トリロジー・エナジー・トラスト	3.6%	-15.5	-0.56
セルティック・エクスプロレーション	2.9%	-18.0	0.52
プログレス・エナジー・リソースズ	2.2%	-18.6	-0.41
デルファイ・エナジー	1.6%	-10.9	-0.18

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、ばんせい投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書(交付目録見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■ コメント 1/2

2012年1月の世界経済と資源エネルギー市場動向

世界の株式市場は1月、全般に上昇する展開となりました。米国における第4四半期の決算発表はまちまちとなる一方で、雇用統計が予想を上回る内容となったことから相場を浮揚させました。その間欧州においては、一連のスペイン及びイタリアの国債の入札が順調に運び、月末の財政条約に関してもギリシャ問題の悲観論に対してセンチメントに明るさをもたらす一方で、民間の債権者とギリシャの高官交渉は2月に入っても続いています。アジアにおいては、中国による金融緩和に対する思惑が相場を動かす中で、報道される経済指標は引き続き、ハードランディングというよりは、むしろソフトランディングを示唆しているように見えます。

グローバル資源エネルギー市況

資源株は全般に、米国経済の持続力に対する楽観的見方や欧州における市場センチメントの改善の中で世界の株式相場が幅広く上昇したことから、大きく恩恵を受けるかたちとなりました。エネルギーを除く資源株は当月、エネルギー関連株を大きくアウトパフォームする結果となりました。原油や天然ガス価格が下落する一方で、金や銅、ニッケル、亜鉛などのベースメタルは月間10%以上の上昇となりました。北米の天然ガス価格は、温暖な気候と通常以外の方法により採掘される分の供給が続いていることなどから、16%もの下落となりました。

Global Resources Fundのパフォーマンス

当月間、米ドルベースのパフォーマンスは前月末比8.2%のプラスとなりました。

RBC Global Asset社の運用する外国投信ファンドにおいて、石油サービスや金属鉱山といった業種に対して組入比率を高めたこともパフォーマンスに貢献しました。金や銀関連銘柄も、Sulliden Gold社、Colossus Minerals社そしてSilver Wheaton社などに牽引されて、2011年の第4四半期の貧弱なパフォーマンスから反騰に転じる結果となりました。RBC Global Asset社では今月、Yamana Gold社とB2 Gold社といった金関連2銘柄をポートフォリオに追加しました。Yamana社については、今後4年間に亘り成長が続く格好で、生産能力倍増そして南米の鉱山を幾つも生産ラインにのせると期待されています。Yamana社の経営陣は昨年からの生産工程の立て直しを進め、その一方で操業コストを比較的低下水準に抑えるという期待に応え続けてきました。その間、天然ガスに対する比重の大きな銘柄、Progress Energy社、Trilogy Energy社、そしてParamount Resources社などは、天然ガス価格の下落から大きく下げ圧力を被りました。

結局、当ファンドの基準価額は、7,270円、前月比+401円(+5.84%)で月末を終えました。同期間、米ドルは対円で77.74円から76.38円へ▲1.36円と+1.75%と円高が進む結果となりました。

RBC Global Asset社による今後の見通し

RBC Global Asset社では、欧州ソブリン問題に関する不確実性は晴れないものの、資源株セクターについては、これまでに見えない買い場を提供しているとみています。株価のバリュエーションは現在、魅力的な水準にあり、多くの場合、株価は不況時の需要水準を織り込んでいるようにみえます。中国による更なる金融緩和への期待、他の新興国によるこれまでの実施を含め、海外商品市況高に対する期待は強く、特に米国経済が引き続き改善することになれば、より強くなるとみられます。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、ばんせい投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

グローバル資源エネルギーファンド



Monthly
Report

追加型投信／海外／株式

2012年1月31日現在

■ コメント 2/2

エネルギー分野では、一方で、原油が1バレル100ドルを上回る可能性は高いとみられる中、エネルギー関連株はその経済に対するネガティブな影響から、100ドル以上の価格を織り込もうとはしないように思えます。他方で、現在のエネルギー関連銘柄の株価は1バレル80ドル前後を織り込んでいるに過ぎず、今後セクター全体が値上がりする余地はあると見られます。石油サービス関連につきましては、その高い収益率にも拘らず、過去最低近辺の予想株価倍率で取引されているのが現状です。仮に収益率が一時的にピークをつけたとしても、今後数年間は高水準に留まる可能性が高いとみています。

エネルギー以外の資源分野では、多くの鉱山会社のバリュエーションが現在、魅力的な水準にあると見えます。なぜなら、マーケットが、これらの企業による新規投資から得られるリターンがあたかも存在しないような株価形成をしていると見られるからです。

☆ 「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2011」最優秀ファンド受賞について



「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2011」 Equity Sector Natural Resources（評価期間3年） の最優秀ファンドに選ばれました。

「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2011」は、世界21都市で開催している「Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定／評価に際しては、リップパー独自の投資信託評価システム「リップパーリーダーレーティングシステム（リップパーリーダーズ、Lipper Leaders）」の中の「コンシスタントリターン（収益一貫性）」を用いています。リップパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リップパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リップパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

リップパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リップパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リップパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

■ RBC社について

RBCグローバルアセットマネジメント・インク（以下、「RBC社」と言います。）について

●RBC社は、カナダ最大の金融グループであるRBCフィナンシャルグループに属し、カナダで最大規模の運用会社のひとつです。[運用資産額：2,000億カナダドル（約16兆円）＜2010年10月末＞]

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、ばんせい投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みに際しましては、販売会社より投資信託説明書（交付目録見書）をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

グローバル資源エネルギーファンド



Monthly
Report

追加型投信／海外／株式

2012年1月31日現在

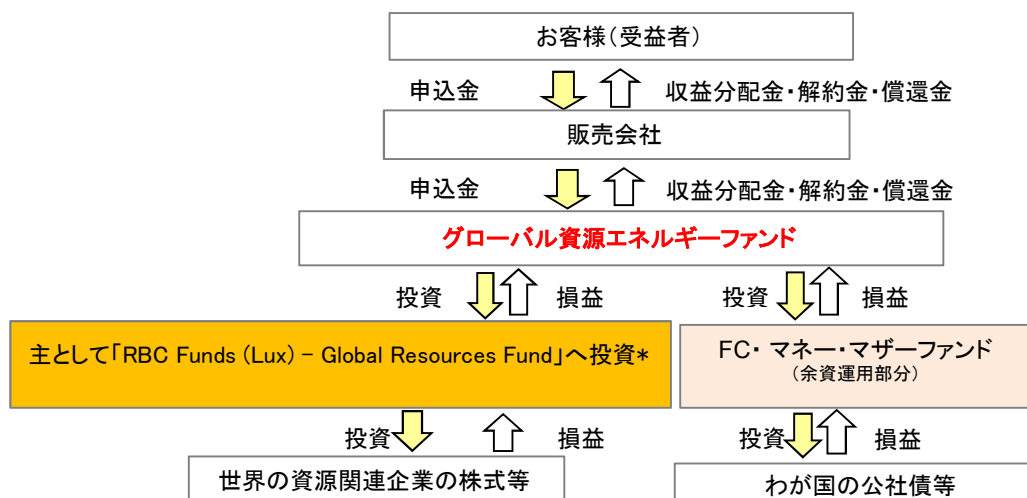
■ ファンドの特色

1. 主要投資対象ファンドを通じて、今後ますます需要が増えると予想される資源に関連する「資源関連株」に投資します。
2. 主要投資対象ファンドは、RBCグローバルアセットマネジメント・インク(トロント)が運用を担当します。
3. 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。
4. ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。

「RBC Fund (Lux) - Global Resources Fund」と「FC・マネー・マザーファンド」を合わせて純資産のほぼ100%組み入れることにより運用を行います。

■ ファンドの構成・仕組

※当ファンドはファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。



*上記のほか、RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund 以外の外国投資信託または外国投資法人で主として資源関連企業の株式等へ投資するものに投資することがあります。

RBC Funds (Lux) - Global Resources Fund	
形態／表示通貨	ルクセンブルク籍の外国投資法人投資証券／米ドル建て
運用目的	主として世界の資源関連企業の株式等へ投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
投資態度	①当ファンドは世界の資源関連株等の銘柄を中心に組み入れます。 ②当ファンドの運用プロセスは、まずファンダメンタル調査に基づきますが、運用担当者は、数量分析要因やテクニカル要因も考慮します。また、銘柄選定の意思決定は、究極的には対象会社、そのビジネスとその見通しの理解に基づきます。
関係法人	運用会社：RBC Global Asset Management Inc. 管理会社：Dexia Asset Management Luxembourg S.A. 保管会社および管理事務代行会社： RBC Dexia Investor Services Bank S.A.
報酬等	管理報酬：0.750% ※上記のほか、同ファンドに関する租税、設立費用・登録料、監査費用、法律顧問に対する報酬、有価証券の売買や先物取引の際に発生する手数料等の費用等が、同ファンドから支払われます。ただし、当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することはできません。

FC・マネー・マザーファンド	
形態／表示通貨	国内籍の証券投資信託／適格機関投資家私募／円建て
運用目的	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行います。 当該受益証券は、ファンド・オブ・ファンズのみを取得させることを目的とするものです。
投資態度	①わが国の公社債を中心に安定運用を行います。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位(a-2格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。 ③当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行われないことがあります。
関係法人	委託会社：ばんせい投信投資顧問株式会社 受託会社：住友信託銀行株式会社
信託報酬	なし
※資源関連企業とは エネルギーならびにエネルギーを除く資源関連企業のことをいい、主として、天然ないしその他の資源の探掘、開発、生産、輸送に、直接あるいは間接的に携わる企業です。	

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、ばんせい投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書(交付目録見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、外国投資信託受益証券および外国投資法人投資証券への投資を通じて、主に外国株式を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価、公社債の価格、先物取引等の価格変動リスク」、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などが考えられます。

※これらのリスクを含む詳細な内容については、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」に記載しておりますのでご確認ください。

＜基準価額の変動要因＞

◆主な変動要因◆

●資源関連株投資のリスク…当ファンドの投資対象ファンドは、世界のエネルギー・鉱物資源の開発・採掘等を行う企業の株式を主要投資対象とします。したがって、エネルギー・鉱物資源の市場動向や需要の変動等が、運用成果に影響を与えることがあります。組み入れられている株式の株価および配当金の変化によって、当ファンドの基準価額は変動します。

●為替変動リスク…当ファンドの基準価額は円建てで表示されます。一方、当ファンドは外貨建ての投資信託証券に投資を行い、当該投資信託証券に対して原則として為替ヘッジを行いません。また、当ファンドが投資する投資信託証券は、外貨建資産に投資を行いません。したがって、為替レートの動きに応じて基準価額は上昇または下落します。

●カントリーリスク…当ファンドの投資対象ファンドは、世界の資源関連企業の株式等に投資します。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、基準価額の値動きが大きくなる場合があります。

●オプション、先物、その他投資手法のリスク…当ファンドの投資対象ファンドは、証券オプション・先物および指数オプション・先物、通貨オプション、通貨先物、金利スワップ等様々な投資手法を用いることができます。このような投資手法を用いた結果、コストとリスクが伴い、基準価額に影響を与える可能性があります。

＜ファンド運営上のリスク＞

- 取得申込・解約申込および買取申込の受付の中止・取消
- 信託の途中終了
- 法令・税制・会計等の変更

お客さまにご負担いただく費用について

◎直接ご負担いただく費用(申込時・換金時)

申込	・ 申込手数料	お申込価額×3.15%(税抜き3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率(注) ※「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、お申込手数料はかかりません。 (注)販売会社によって異なりますので、販売会社または委託会社にお問合せください。
換金	・ 換金(解約)手数料 ・ 信託財産留保額	ありません。 換金(解約)申込受付日の翌営業日の基準価額に対し0.30%の率を乗じて得た額とします。

◎保有期間中に間接的にご負担いただく費用

保有時	・ 信託報酬	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して年率1.302%(税抜き1.24%)。また、投資対象ファンドの純資産総額に対して上限年率0.750%が投資対象ファンドより負担されますので、実質的に負担する信託報酬等は年率2.052%(税込)程度となります。
	・ その他の費用(注)	信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。純資産総額に対して年率0.315%(税抜き0.30%)を上限とします。)、有価証券等の売買にかかる手数料等を当ファンドならびに投資対象とする外国投資信託より間接的にご負担いただきます。 (注)その他費用については、純資産総額や運用状況等により変動するものであり、事前に金額、上限額等を予め表示することができません。

○ お客様の負担となる費用等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

グローバル資源エネルギーファンド



Monthly Report

追加型投信／海外／株式

2012年1月31日現在

■ お申込メモ

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

- 商品分類：追加型投信／海外／株式
 信託設定日：2007年12月21日
 信託期間：無期限（ただし、受益権口数が30億口を下回った場合には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
- お申込単位：＜分配金受取コース＞1万口以上1口単位、または1円以上1円単位（当初元本1口＝1円）
 ＜分配金再投資コース＞1円以上1円単位
 ※お申込単位は各販売会社により異なります。詳細は、各販売会社またはばんせい投信投資顧問株式会社（下記「委託者、その他関係法人」の記載をご覧ください。）にお問合せ下さい。
- 申込手数料：お申込価額×3.15%（税抜き3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率（注）
 ※「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際にはお申込手数料はかかりません。
 （注）販売会社によって異なりますので、販売会社または委託会社にお問合せください。
- 信託報酬：ファンドを保有している期間、保有している金額に対して年率1.302%（税抜き1.24%）。また、投資対象ファンドの純資産総額に対して上限年率0.750%が投資対象ファンドより負担されますので、実質的に負担する信託報酬等は年率2.052%（税込）程度となります。
- お買付価額：お買付申込日の翌営業日の基準価額
 お買付代金の支払日：原則として、お買付申込日から起算して7営業日目まで
 ※詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。
- ご換金単位：＜分配金受取コース＞ 1万口単位または1口単位
 ＜分配金再投資コース＞ 1口単位
- ご換金価額：ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
- 換金手数料：ありません。
 信託財産留保額：換金（解約）申込受付日の翌営業日の基準価額に対し0.30%の率を乗じて得た額を控除します。
- 換金代金の支払：原則として、ご換金申込日から起算して7営業日目から ※詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。
- 受付時間：お申込の受付は、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。ただし、受付時間は各販売会社によって異なる場合があります。
- 買付・換金申込不可日：国内の休業日および、トロント証券取引所、トロントベンチャー取引所もしくはトロントの銀行休業日またはニューヨークの証券取引所もしくはニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルクの証券取引所もしくはルクセンブルクの銀行休業日。
- 決算日：原則6月20日および12月20日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：年2回の決算日に、収益分配方針に基づいて分配を行います。
 ※＜分配金受取コース＞を選択した場合は分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始します。
 ※＜分配金再投資コース＞を選択した場合は、分配金は税引き後、自動的に再投資されます。

■ 投信ご購入の注意

証券投資信託は、

- (1) 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資社保護基金の対象にもなりません。
- (2) 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保健康額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- (3) 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合があります、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、ばんせい投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



グローバル資源エネルギーファンド



Monthly Report

追加型投信／海外／株式

2012年1月31日現在

■ 委託者、その他関係法人

委託者：ばんせい投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号

商品投資顧問業(農経(1)第19号)

〔加入協会〕(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本商品投資顧問業協会

(投資信託の設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)

受託者：住友信託銀行株式会社〔再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社〕

(投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)

販売会社：(受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)

《 販売会社一覧 》

(50音順、加入協会に○印)

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
アーツ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2号	○	○	
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○	
安藤証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第1号	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○
かざか証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第58号	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○		
トレーダーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第123号	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○		○
SMBC日興証券株式会社 (投信スーパーセンター)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
New-S証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号	○		○
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号	○	○	
日の出証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第31号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
丸大証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第168号	○		
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号	○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○

■ 当ファンドの照会先

ばんせい投信投資顧問株式会社

電話番号：03-3523-8118

営業時間：営業日の午前9時～5時

HPアドレス：<http://www.bansei-am.co.jp/>